

「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会」第2回ワーキンググループ会議

火山噴火緊急減災対策砂防計画は、いつどこで起こるか予測の難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、ハード及びソフト対策からなる緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできる限り軽減（減災）することにより、安心して安全な地域づくりを目的として、国土交通省では「火山噴火緊急減災対策砂防計画ガイドライン（平成19年4月）に基づき「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を策定するもので、御嶽山に関わる防災関係機関や学識経験者からなる「御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会（平成21年10月26日）」を設置したことから、第2回ワーキンググループ会議を開催し、火山防災マップ、計画前提条件、監視観測体制、周知啓発、行政広域防災体制の確立等、出された課題に対して内容を検討するものです。

なお、今回のワーキンググループ会議では、これらの課題に対し主に下記について検討をおこなうものです。

今回のワーキンググループにおける主な検討項目

- ・ 噴火シナリオの検討
イベントツリーの作成
(どのような火山活動を想定するのか)
- ・ 火山活動による影響範囲の予測
影響範囲予測の結果報告と妥当性の確認
(噴石・降灰・溶岩流・火砕流
・ 融雪型火山泥流・土石流・大規模崩壊)